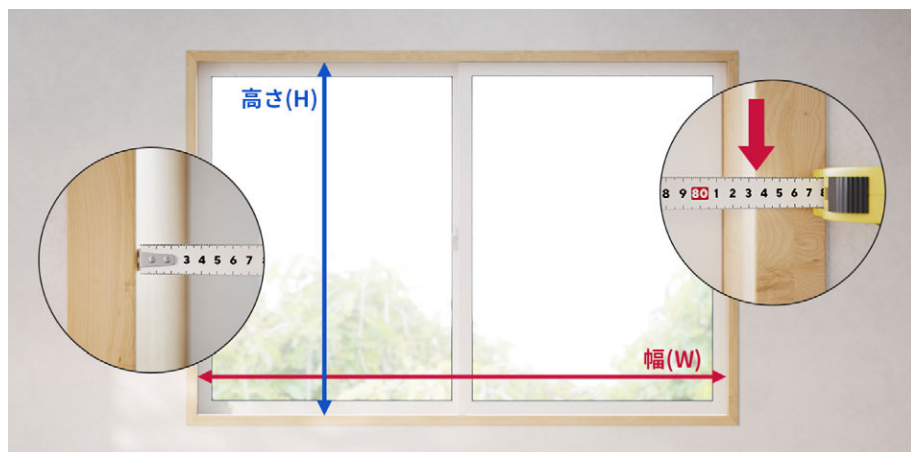


天井付け 窓枠の内側に取り付ける場合



「天井付け※」は窓枠内側におさめる取り付け方法です。本体上部のメカ部分や本体が全て窓枠内に収まるので、すっきりとした印象になるのが特徴です。周囲に家具などを置いた時に干渉しない点もメリットです。

※天井付けは図のように窓枠（木枠）内に取り付ける場合のほか、鴨居内など周辺が壁で覆われた中にシェードを設置する場合を含みます。

- 幅・高さともに窓側の内側から内側まで採寸します。
- 採寸したそのままの寸法でご注文下さい。窓枠内にフィットするように製造部門がご注文いただいた幅の数値から左右0.5cmずつ、合計1cm小さく製作します。

巻き上げ時の巻き径

例：丈70cmの場合の巻き径は約5cmです。

注意：

巻き上げ時は、ロール前後に厚みが出ますので、窓等に接触する場合があります。



取り付けに必要な奥行き

2cm

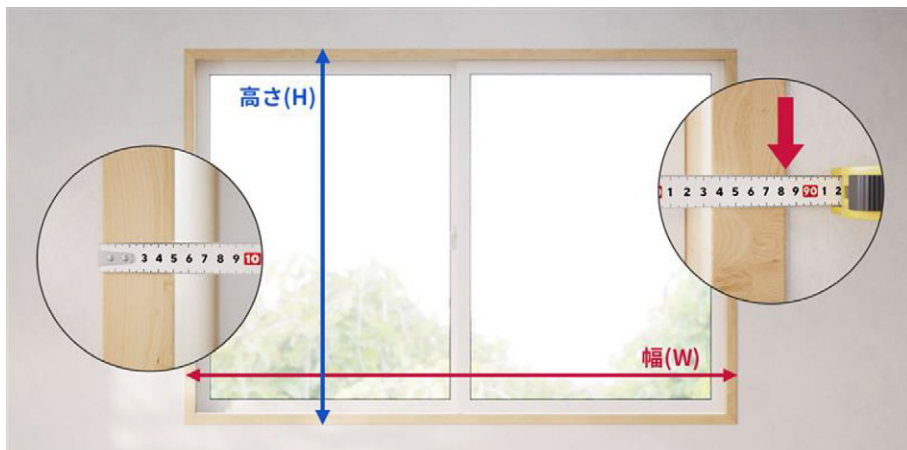
注意：

窓枠の内側に取り付ける場合、天井とすだれの間に約4～5cmの隙間ができます。

この隙間から光や視線が抜けやすいため、見た目や目隠し効果を重視する場合はご注意ください。



正面付け（推奨） 窓枠の外側に取り付ける場合



正面付け※は窓枠を覆うように取り付ける方法です。窓枠よりもサイズを大きくすることで、窓を大きく見せることができます。

※正面付けは、図のように窓上の壁面に取り付ける場合のほか、窓枠正面、鴨居の正面、部屋の天井などに取り付ける場合を含みます。

- お客様のご希望の幅と高さを測ります。床、建具、障害物などを考慮してお測り下さい。
- 図1のように、ビスを取り付けたところから、3.5cm下がった位置にすだれがつくため、隙間ができないようにその隙間を考慮してご注文いただくことをおすすめします。また、図2は3.5cmの隙間を考慮せずに取り付けた場合のイメージです。

図1



図2



巻き上げ時は、ロール前後に厚みが出ますので、壁に接触する場合があります。
(例：丈70cmの場合の巻き径は約5cmです。)

